

実験動物の保管・管理

実験者名： _____

実験者名： _____

(1) 動物実験室の構造と管理（法令、BSL-4施設規則）	
感染症法	①全ての実験動物は専用の飼育装置(アイソレーター)に収容
感染症法	②実験室内部を確認する為の窓の設置
感染症法	③実験動物を飼育する実験室から通常の私服で立ち入りすることができる場所まで多数の厳重な扉で隔絶される
長崎大学BSL4	④動物実験取扱者の立入制限(専門の訓練を受けて許可された者のみ)
長崎大学BSL4	⑤更に専門的な教育訓練を受講する必要
長崎大学BSL4	⑥監視カメラによる常時管理
長崎大学BSL4	⑦実験に用いる動物個体のみ搬入(個体毎、全数管理)
長崎大学BSL4	一頭毎の個体識別標識による個体管理を行う
(2) 保管状況の確認	
①実験室に搬入する前の管理	
搬入頭数の確認・記録	
②実験中の管理	
毎日の観察(体調・頭数の確認を含む)	
③実験後の管理	
生存・死亡数を確認、全ての動物を滅菌、死亡動物を特別管理廃棄物として処理	

実験動物の保管・管理チェックリスト

実験者： _____ 、 実験者： _____

確認内容	実験日	実験室入室前				入室・実験中					実験後・退出時						異常時		
		室内状況	実験者数	動物頭数	個体識別番号	ケージ数	アイソレーター数	中央監視室	頭数	体調	収納状況	生存数	死亡数	滅菌	ケージ等施錠	記録	特別管理廃棄物	動物捕獲	中央監視室連絡
(1) 取り扱う動物の種類ごとに個体・頭数を管理																			
① 数匹ずつ専用のケージにて収納																			
げっ歯類																			
動物名																			
動物名																			
① 1頭ずつ専用の檻（ケージ）に収納																			
サル																			
動物名																			
動物名																			
② ケージをそれぞれ個体毎のアイソレーターにて飼育																			
(2) 入退室に係る確認及び異常時の対応																			
① 入室前																			
1) 実験室の外側から窓等にて異常が無いかの確認																			
② 入室中																			
1) 実験者複数人で確認																			
2) 中央監視室から作業を監視																			
③ 退室時																			
1) ケージ等の施錠確認																			
2) 収納状況など異常が無いことの確認																			
④ 異常時（動物がケージから逸走した場合）																			
1) 動物実験内で動物を捕獲																			
2) 中央監視室に連絡し、立ち入らないよう周知する																			
(3) 保管状況の確認																			
一頭毎の個体識別標識による個体管理を行う																			
① 実験室に搬入する前の管理																			
1) 搬入頭数の確認																			
2) 搬入頭数の記録																			
② 実験中の管理																			
1) 毎日の観察																			
2) 毎日の観察（体調の確認）																			
3) 毎日の観察（頭数の確認）																			
③ 実験後の管理																			
1) 生存・死亡数を確認																			
2) 全ての動物を滅菌																			
3) 死亡動物を特別管理廃棄物として処理																			

BSL-4実験室から排出される「廃棄物等」の処理方法



BSL-4実験室から排出される廃棄物管理チェックリスト

実験者： _____、 実験者： _____

場所	廃棄物	処理	確認	記録 (年 月 日)	チェック
薬液シャワー室	①薬液シャワー水	①高圧蒸気熱滅菌タンクでの滅菌	1. 温度は121℃以上あるか 2. 圧力は高圧となっているか 3. 滅菌時間は15分以上か 4. 滅菌中の装置の異常はないか		
BSL-4実験室内	①薬液シャワー水				
BSL-4実験室内	②動物実験排水 (し尿等)	②化学滅菌タンクでの滅菌	1. 有効塩素濃度は0.01%以上か 2. 次亜塩素酸ナトリウム浸漬は1時間以上か 3. 浸漬中の装置の異常はないか		
BSL-4実験室内	③液体培地等	③滅菌した排水を建物外の下水に排出	1. 化学滅菌処理済の排水は中和されたか 2. pH調整は 3. pH、温度は適切か 4. 下水道へ排水は確認したか		
BSL-4実験室内	固形廃棄物 ①使用済みプラスチック容器等 ②紙類 (実験廃液を拭き取った紙等) ③動物の死体等	①事前の消毒処置 滅菌前に消毒液に所定の時間浸漬する 種類毎に分別・記載してビニール袋に入れる ②高圧蒸気滅菌装置 床置・両面扉式装置に実験室側から廃棄物を搬入し 滅菌を行う ③廃棄物の保管と業者による収集・処分・滅菌された 廃棄物は特別管理として中身が漏洩しない容器を 用いて保管 ・行政より許可を受けた業者により収集・運搬・ 処分が行われる。 ・収集の際に、廃棄物に係るマニフェスト伝票を作成 ・その後処分したことが記録されたマニフェストを 業者から受領し、廃棄終了	1. 種類毎に分別したか 2. 廃棄数量は 3. 計測装置で微生物死滅を確認できたか 4. 温度は121℃以上あるか 5. 圧力は高圧となっているか 6. 滅菌時間は15分以上か 7. 装置の異常はないか 8. 計測結果は問題ないか 9. 廃棄物の種類 (特別管理廃棄物) 10. 数量 11. 荷姿 12. 収集の日時 13. 処分の日時 14. 業者からの報告		
BSL-4実験室内	①実験室内の排気	①燻蒸処理 ・専用業者によりウイルスに有効な消毒剤を用いて 燻蒸処理する。 ・専用の計測装置を用いて確認する ・フィルタを通して除菌された排気は建物外の空气中 に排出される	1. プレフィルタ 1枚あるか 2. HEPAフィルタ 2枚あるか 3. 交換時の滅菌は済んでいるか 4. 特別管理廃棄物として容器に 入れているか		
	①実験室内の給気	・プレフィルタ、HEPAフィルタの2種類のフィルタを 収納したHEPAボックスを通して建物外の空気を給気	1. HEPAボックスにプレフィルタ、 HEPAフィルタが収納されているか		